

## 2021年度上期 北海道・東北ブロック会議報告

- (1) 6月10日（木）14：00～にオンラインを利用して同会議にて開催されました。参加産地は21産地から47名、生消協生産者幹事、ブロック役員14名、消費者幹事5名、パルシステム関係者10名、合計76名の参加でした。
- (2) 能登谷副ブロック長（常盤養鶏）の進行により開始され、高橋ブロック長（庄内協同ファーム）の開会あいさつの後、大津代表幹事（無茶々園）より2021年度生消協活動方針の説明がなされました。
- (3) 次に、パルシステム連合会洪澤専務理事、産直事業本部工藤副本部長、株式会社パルミート藤木部長より2020年度実績・2021年度方針と新年度からの受注、供給状況の報告となりました。
- (4) 報告後、「各産地の明るい話題」をテーマにグループ生消協役員の進行により、グループディスカッションが行われました。
- (5) グループディスカッション終了後の各グループの共有として、代表者による発表があり、思うように交流ができない中、SNSを利用した産地情報の発信や会社勤めに見切りをつけて就農をした後継者の話しなどが報告され、緊急事態宣言や蔓延防止措置が取られている中、産地での様々な工夫など明るい話題提供が各グループで披露されていました。消費者幹事の高橋副代表幹事（パルシステム千葉）より、「このようなオンラインでの交流もよいところもあり、捨てがたいが、新型コロナが終息となり、再びリアル交流が行われることを祈っている」と感想とまとめが行われ、閉会となりました。



以上